

# 第2回ミニ講座 10.4

令和4年10月4日に第2回ミニ講座を実施しました。長崎大学 脇信明准教授を講師に迎え、「幼児期の姿から内面の発達を理解する」と題して、ご講演をいただきました。

20世紀と21世紀では保育の考え方はもちろん、社会全体の方針も大きく変わっており、これまでの価値観から新しい価値観へと転換していく必要があるという話でした。

認知能力と非認知能力の話では、非認知能力がいかに大切であるかが分かりました。非認知能力とは、「まじめさ」「好奇心」「協調性」などIQなどの数値ではかることのできない能力のことです。非認知能力の重要性を示す例として、「外国では、外交官の採用と仕事の様子の関連性について調査をしたところ、ペーパーテストの点数が高いだけでなく、非認知能力を備えている人が仕事ができるという結果が出た」そうです。

附属幼稚園では、好きな遊びに夢中になることで、「好奇心」を育んだり、数人で同じ遊びを楽しむことで「協調性」を伸ばしたりしています。今後も、子どもたちの非認知能力を伸ばしていける援助をしていきます。

